

資料1

令和7年度 神戸市災害時物資円滑供給検討会 第1回 検討会

令和6年度の振り返り 及び令和7年度の実行方針



1. 本検討会の概要

1-1. 検討会の目的

過去の災害時における教訓を踏まえ、大規模災害の発生時においても、被災者へ迅速かつ安定的に物資が供給できるように、**官民が連携・協働して取り組むべき課題について検討し、具体的な取り組みを進めていくことを目的とする。**

1-2. 過年度の検討会開催状況

過年度の検討会開催概要

回	時期・形式・場所	内容
令和5年度 第1回	令和5年8月2日 参集(三宮研修センター)	(1) 令和5年度の検討目的及び取組方針 (2) マニュアルの改定方針 (3) 神戸市災害時物資供給実働訓練 企画概要
	令和6年2月 書面開催	(1) 訓練結果 (2) マニュアルの改定 (3) 緊急通行車両等の事前届出制度
令和6年度 第1回	令和6年8月2日 参集(危機管理センター)	(1) 令和6年度の検討目的及び取組方針 (2) 神戸市災害時物資供給実働訓練 企画概要 (3) その他事項
	令和7年3月 書面開催	(1) 訓練結果報告及び課題 (2) マニュアルの改定内容(概要)

2. 昨年度の取組の振り返り

2-1. 令和6年度の検討成果の概略

令和6年度の訓練結果を踏まえ、**実践的で活用できる項目等を追記**することで、マニュアルの充実を図った。

2-2. 令和6年度マニュアルの改定内容(1/5)

(1) 民間事業者の様式を補助的に活用する項目の追加

市と民間事業者が協力要請時に必要な情報を円滑に共有できるよう、状況に応じて民間事業者側の様式を補助的に活用を考慮する項目を追加した。

活用目的の追加

(2) 事業者要請時の必要情報・認識を共有するための様式等の有効活用
市から民間事業者に対して、各フェーズにおいて協力要請を行う際には、市側が協力依頼する内容（人員派遣、車両確保、調達が必要な品目・数量、配送先、配送品目・数量等）を伝達するだけでなく、協力を行う民間事業者側が知りたい情報（派遣人数・期間、配送品目の荷役、通行可能な配送ルート情報等）を合わせて、適切に伝える工夫が必要である。
本マニュアルにおいては、各種協力要請時に、市側と民間事業者側がそれぞれ必要とする情報・認識を共有するための様式や方法を示す。様式等は今後、官民合同訓練において活用することにより、継続的に改善していくことが前提となる。

運用規定の追加

6. 様式の運用
配送事業者における出庫連絡や発注・配送業務に関する事項をより円滑に行うため、本資料内における「出庫連絡＆輸送調整表（様式4）」及び「発注＆配送依頼書（様式5）」については、神戸市と物流事業者と協議のうえ、配送事業者の既存の様式等の活用も考慮する。

神戸市災害時物資供給マニュアル P7
II. 物資供給体制 2. 物資供給体制の基本方針
(2) 事業者要請時の必要情報・認識を共有するための様式等の有効活用

神戸市災害時物資供給マニュアル P40
III. 災害時物資供給の具体的な手順と関係主体役割
6. 様式の運用

2. 昨年度の取組の振り返り

2-2. 令和6年度マニュアルの改定内容(2/5)

(2) 物資輸送後の資材回収に関する項目の追加

過去の災害対応における資材回収の遅れを踏まえ、使用後の空パレットや番重の回収を速やかに民間事業者に依頼する項目を追加した。

運用目的の追加

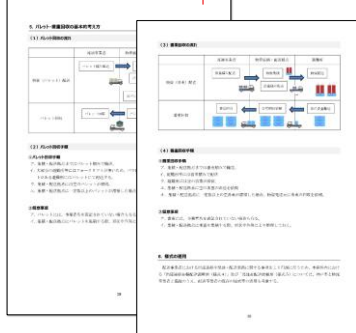
(4) 物資の仕分け・在庫管理（配送しやすさ）を重視した集積・配送拠点の運営
過去の災害事例においては、災害時物資の受入を急ぎ、物資の仕分け・在庫管理を適切に行わなかったがために、必要な物資の保管場所・数量が判別不能となり、物資の分配・積込み・配送に必要な以上の時間を要する事態が発生している。
災害時物資を迅速に集積・配送拠点に運び入れることはせず、物資の仕分け・在庫管理に十分な時間をかける「運び出しやすさ（オペレーション）」を集積・配送拠点の運営の基本とする。
また、令和6年能登半島地震において、集積・配送拠点において空のパレットや番重が滞留してしまい、派遣事業者の手持ちが不足したことで、出荷に支障をきたすこともあった。そのため、パレットについては、一定数以上のパレットが滞留した場合に、拠点運営担当職員は物資発送元へ回収を依頼する。
また番重についても、一定数以上の番重が滞留した場合に、避難所を運営する市職員が物資を配送した業者に集積・配送拠点までの返送を依頼する。拠点運営担当職員は、物資発送元へ番重の回収を依頼する。



提供：熊本市

神戸市災害時物資供給マニュアル P8
II. 物資供給体制 2. 物資供給体制の基本方針
(4) 物資の仕分け・在庫管理(配送しやすさ)を重視した集積・配送拠点の運営

業務フローの追加



神戸市災害時物資供給マニュアル P39～40
III. 災害時物資供給の具体的な手順と関係主体役割
5. パレット・番重回収の基本的考え方

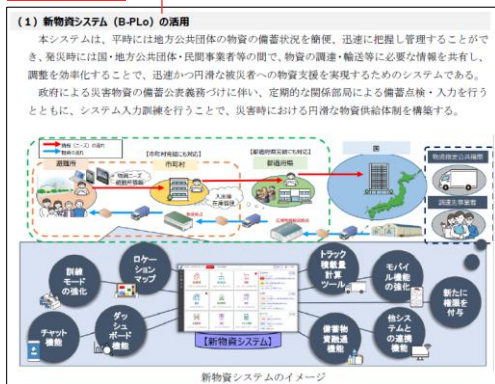
2.昨年度の取組の振り返り

2-2.令和6年度マニュアルの改定内容(3/5)

(3)新物資システム(B-PLo)に関する項目の追加

政府による災害用物資の備蓄状況公表義務づけに伴い、新物資システム(B-PLo)に関する項目を追加した。

項目の追加



神戸市災害時物資供給マニュアル P51

[VI. 各種システムの活用 1. 各種システムの活用(1)新物資システム B-PLoの活用]

04

2.昨年度の取組の振り返り

2-2.令和6年度マニュアルの改定内容(4/5)

(4)支援協力者マップの活用と更新の追加

支援協力者マップの活用を促進するため、マップを活用する目的・メリットやマップの更新手順を追加した。

項目の追加

(2) 支援協力者マップの活用

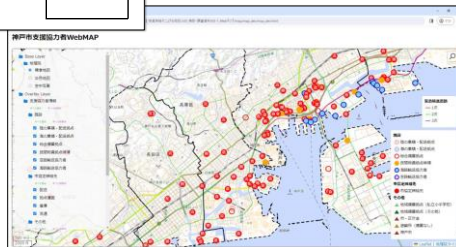
支援協力者マップは、災害時物資輸送時に支援していただける物流事業者等の情報を GIS 上で管理するマップで、神戸市と物流管理事業者が共有することで、民民連携でスムーズな災害時物資輸送に寄与する。

支援協力者マップのデータは、危機管理局が各支援協力者に情報の変更が無いかなどの照会を行い、整理する。データの更新作業は毎年行い、更新したデータは物流事業者、支援協力者等と共有する。



神戸市災害時物資供給マニュアル P51

[VI. 各種システムの活用 1. 各種システムの活用
2 支援協力者マップの活用]



支援協力者マップ(Web マップ)

05

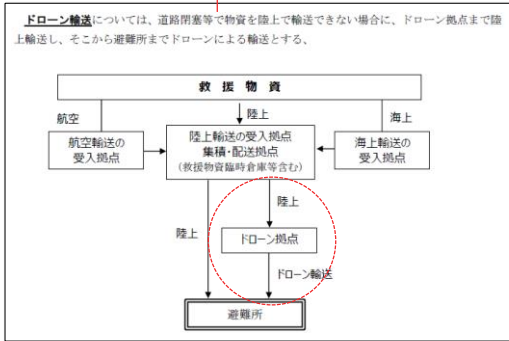
2. 昨年度の取組の振り返り

2-2. 令和6年度マニュアルの改定内容(5/5)

(5) ドローン輸送に関する項目の追加

道路閉塞などにより陸上輸送が困難な状況に備え、代替手段としてドローンによる輸送に関する項目を追加した。

活用シーンの追加



神戸市災害時物資供給マニュアル P14

II. 物資供給体制 4. 総合備蓄拠点、集積・配送拠点候補施設
(2) 3種類の輸送の受入拠点の使い分けとマニュアルの構成

業務フローの等追加



神戸市災害時物資供給マニュアル P50

V. ドローンによる物資輸送
1. ドローン輸送の活用

06

2. 昨年度の取組の振り返り

2-3. 訓練の実施

過年度の訓練概要

年度	形式	内容
R2	図上訓練	海のルート活用を盛り込むマニュアル改定を目的とし、 海の集積・配送拠点開設・運営 のケーススタディを実施
R3	図上訓練	過年度の課題を踏まえ、民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営の手順確認を目的とし、民間施設等を活用した 集積・配送拠点の開設・運営に係る手順等を確認する図上訓練 を実施
R4	実働訓練	過年度の課題、図上訓練を通じ、民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営の手順確認を目的とし、 実際の民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営の実働訓練 を実施
R5	実働訓練	過年度の課題、訓練を通じ、民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営に加え、 海上輸送の受入や避難所・福祉避難所への配送等の手順確認 を目的とし、 実際の民間施設等を活用した複数拠点間の連携や本部での状況把握・コントロール等の実働訓練 を実施
R6	実働訓練	過年度の課題を踏まえ、以下①～③の手順確認・検証を目的とし、 実際の民間施設等を活用した複数拠点間の連携や本部での状況把握・コントロール等の実働訓練 を実施 ①支援協力者マップや防災アクションカードを活用した避難所等への物資の配送 ②孤立集落を想定したドローンによる輸送 ③新しい物資配送依頼様式を用いた配送依頼

07

3.令和7年度の取組方針

3-1.取組方針

PURPOSE
01

[実効性を確保するための実働訓練の実施]

実際の民間施設等を活用した集積・配送拠点の開設・運営に加え、突発事象への対応や配送業者独自様式を用いた配送業務、新物資システム(B-PLo)の活用等による**災害時の物資供給の実効力向上**を目指す。

PURPOSE
02

[マニュアルの充実化・活用性の向上の検証・検討]

昨年度の訓練や本年度の訓練で得られた意見や課題等を踏まえ、マニュアルの見直しを行う。

08

3.令和7年度の取組方針

3-2.検討会、実働訓練のスケジュール・開催方法

令和7年度のスケジュールと検討事項

回	時期・形式・場所	内容
事務局検討	—	・令和6年度検討成果の整理 ・実働訓練の企画検討
第1回 検討会	令和7年7月30日 対面・Web 神戸市危機管理センター	(1)令和7年度の検討目的及び取組方針 (2)神戸市災害時物資供給実働訓練 企画概要
事務局検討	—	・訓練内容(シナリオ等)の検討 ・必要に応じて事前ヒアリング調査、現地確認
実働訓練	令和7年10月8日 対面(一部Web配信) 複数拠点による同時進行型※	(1)集積・配送拠点の開設(机上訓練) (2)災害時物資の受入れ・仕分け・配送(実働訓練) (3)振り返りミーティング、課題検証アンケートの実施
事務局検討	—	・実働訓練の結果・課題のとりまとめ ・マニュアルの改定作業
第2回 検討会	2月頃 書面 (必要に応じて対面開催を検討)	(1)実働訓練の結果・課題のとりまとめの報告 (2)マニュアル改定(案)の提示

※訓練の実施拠点は資料3を参照

09